

診療科
血液内科

疾患名
再発・難治性多発性骨髄腫

レジメ名
DBd療法(4-8コース)

投与間隔
1コース 3 週間 計 5 コース

商品名	一般名	略号	投与量	投与方法	投与時間	投与日									
						day1	day2	day4	day5	day8	day9	day11	day12		
ダラキューロ	ダラツムマブ		1800mg/body/day	sc	3-5min	●									
ベルケイド	ボルテゾミブ	BOR	1.3mg/m2/day	sc(又はiv)		●		●		●		●			
レナデックス	デキサメタゾン	DEX	20mg/body/day	po		●	●	●	●	●	●	●	●		

備 考

- ・75歳超またはBMI<18.5kg/m2例、control不良の糖尿病、steroidに対する忍容性がない、または有害事象を発現した方ではday2,4,5,9,11,12のsteroid投与は省略可。
- ・ボルテゾミブは1.3mg/m2で開始し、毒性に応じて1.0mg/m2、0.7mg/m2、投与中止に調整。
- ・infusion reactionを軽減させるために、ダラキューロ投与の1~3時間前に抗ヒスタミン剤、解熱鎮痛剤、副腎皮質ステロイドを前投薬する。具体的には1時間前までにカロナル900mg、レナデックス20mg、ポラミン 5mgを内服する。
- ・気管支喘息や呼吸機能検査でFEV1.0<80%のCOPD例では、2日間はポラミンなど抗ヒスタミン剤の内服、短期間作用型β 2アドレナリン受容体作用薬の吸入および原疾患の治療(気管支喘息では吸入ステロイド±長時間作用型β 2アドレナリン受容体作用薬、COPDではスピリーバやアドエアなどの長時間作用型気管支拡張薬±吸入ステロイドの事後投与)が考慮される。
- ・ダラキューロ投与24時間以降に発現する遅発性infusion reactionを軽減させるため、必要に応じてレナデックス20mgの内服追加を検討する。ただし、ダラキューロ投与翌日にもともとレナデックス投与予定の場合は追加不要。

登録年月日
2021年 6月 9日

登録No.
No. 472-2